

～令和4年は仮線工事が最盛期となります～

※裏面もご覧ください

＜高架化後のイメージ＞



西側上空から若林駅付近を望む
※図はあくまでイメージであり細部は実際とは異なります。

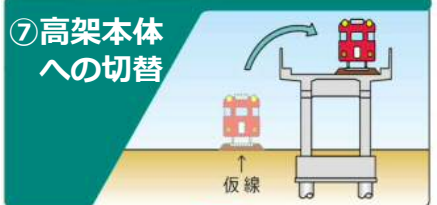
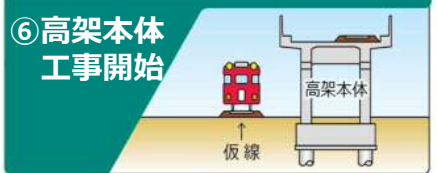
＜現況＞



令和4年は、現在実施している仮線工事が最盛期となります。逢妻男川に仮線橋を架設し、花園地区では高架仮線が立ち上がります。鉄道沿線では、土砂の搬出入、構造物の取り壊し、機械の作業音等により近隣住民の皆様にはご迷惑をおかけしています。また、工事用車両の通行にあたっては、歩行者、一般車両の安全確保にさらに努めてまいります。ご理解ご協力をお願いします。

事業スケジュール

- ① 用地の取得
- ② 準備工事
- ③ 工事説明
- ④ 仮線工事

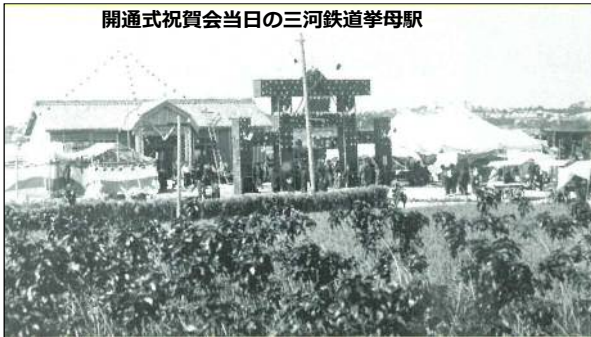


ちょっと途中下車 100年以上走り続ける三河線

1920年（大正9年）、三河鉄道（現名鉄三河線）の知立駅（現三河知立駅）～挙母駅（現豊田市駅）が開通しました。7月5日に知立～土橋駅間が、8月31日に上挙母駅、11月1日に挙母駅まで開通しました。日本で鉄道が開通してから、48年後のことで、地域待望の開通でした。挙母駅開業の前日、挙母町主催の三河鉄道挙母新駅開通祝賀会が新駅構内で開かれました。

猿投駅まで開業するのは、さらに4年後の1924年（大正13年）10月31日のことでした。昭和16年に名古屋鉄道となり、高架化や駅の改修を経ながら、今も運行を続けています。今回の事業区間で三河線が今の線路を走るのは仮線切替までです。歴史を感じながら車窓の風景を楽しんでみてください。

開通式祝賀会当日の三河鉄道挙母駅



豊田地域鉄道網図

昭和7年(1932)当時

鉄道の開通により、人々の移動も便利になりました。三河線に続いて開通した岡崎線(名鉄挙母線)の存在はトヨタ自動車工場立地の要因にもなりました。



問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651（直通）
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp

令和3年の記録

～鉄道沿線で仮線工事が進んでいます～

若林地区

万能塀の設置

工事区域を囲み安全を確保します。搬入口の周辺は、見通し確保のため、透明な万能塀となっています。



交差道路工事

若林駅北側の若林1号踏切東側において、踏切利用者の安全確保のため、交差道路の暫定整備を行っています。1月中旬に道路の切替を予定しています。



逢妻男川周辺工事

逢妻男川では、仮線橋の工事を行っています。降雨が少なくなる渇水期に入り、河川区域内の工事が本格化しています。



仮線土木工事

仮線の築造に向け、造成工事を行っています。若林駅では、仮のホームの工事が始まっています。



工事の記録について

工事前後のまちなみや工事の進捗状況を記録するため、定期的に写真及び動画で三河線沿線の様子を記録しています。

また、工事による周辺への影響を把握するため、杭打ち等の工事を行う際に振動調査を行っています。近隣の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

<工事記録>

委託業者
大建コンサルタント(株)

<振動調査>

委託業者
中日本建設コンサルタント(株)

中根地下道について

仮線工事に伴い、若園小学校東側の中根地下道の切り回しを行います。工事実施にあたっては、歩行者の通行の安全に配慮します。通行規制を行う場合は、現地案内看板等でお知らせします。ご理解ご協力をお願いします。



中根地区

交差道路工事

若園小学校周辺では、仮線の踏切整備のため、市道若林花園線の改良工事を行っています。これに伴い、若園小学校正門へ通じる階段を整備しています。



花園地区

高架仮線工事

12月上旬より高架仮線の工事が始まりました。側道の一部区間で交通規制を行っています。ご理解ご協力をお願いします。

